



# Deeper<sup>®</sup>

---

CONCEPT BOOK



## 製品化への開発者の思い

Deeper®の開発の始まりは、モンゴ流シリーズ内で最も早く、2006年(モンゴ流シャンプー開発に着手する2年前)に遡ります。当時、育毛剤としてミノキシジル配合の他社製品が世間の話題を集めており、学術的根拠や臨床データなどから、これに勝る製品を作るのは難しいと、Deeper®の開発を一時断念していました。

しかし、実際に私自身がその製品を複数年間継続使用したところ、発毛・育毛効果を実感できないばかりではなく、成分と肌の相性が悪いのか、使えば使う程、地肌がかぶれただけでした。しかし、今でもその製品が育毛剤の頂点であるという期待感に変わりはありません。とは言え、いくら頂点の製品であったとしても、効果を実感できない人にとっては何の意味もない製品なのです。

そこで私は、脱毛の3大原因について見識を深める一方で、自然科学と再生医療に興味を持ちながら、化粧品グレードで効果を実感できる製品を開発することは出来ないかと研究を続けていました。ちょうどその頃、モンゴロイド3大伝承成分と成長因子(グロースファクター)と出会ったのです。「これならいける！」と確信を持ち、私はDeeper®の製品開発を再開しました。

## 突き止めた育毛剤の「究極」

本物を作りたい、作ることも、使っていただくことも、販売することも、購入していただくことも、この全てを、意味のない「ムダ」な事にはしたくない。

嘘八百のポツタクリがまかり通っている、そんな市場に本物を投入したい。

消費者を後悔させたくない。消費者の髪の毛の悩みが解決し、幸せな生活を送って欲しい。

私は、この理想を現実にするため、自然科学の賜物であるモンゴロイド3大伝承成分と

再生医療に使われている成長因子を融合させた Deeper<sup>®</sup>を開発しました。

Deeper<sup>®</sup>の特徴はあらゆる有用成分が、同じ目的、同じゴール(発毛・育毛・脱毛予防)を目指し、

あらゆる角度から、全ての原因に向かってアプローチすることにより、相乗効果(シナジー)を発揮することです。

そして、その効果が満足いくレベルに到達し、ついに、Deeper<sup>®</sup>を製品化する事が出来ました。

Deeper<sup>®</sup>は皮膚医学理論に基づいて配合成分を選定し、医療機関で頭髮再生治療等に使用されている高品質のグロースファクターを原料メーカーの定めたエビデンス<sup>(※)</sup>を満たす濃度で配合しています。

しかし、販売価格は限界まで抑えられており採算(商業)ベースではありません。

グロースファクターが配合されている類似製品は1本あたり1万円を超える価格で販売されているものばかりです。

しかし、一般的な価格の半値以下である4,850円(Deeper<sup>®</sup>)という超低価格で販売しており、

製品原価(流通コスト含む)と販売価格がほぼ同額(販売価格≒原価)となっています。

この価格は、配合している原料の削減や、効果に影響を与えかねない生産コストの削減によって

低価格を実現したのではなく、セットでお使い頂く事によって、

より満足して頂きたいという開発コンセプトがあったからこそ実現した価格です。

つまり、モンゴ流シャンプー EX<sup>®</sup>とDeeper<sup>®</sup>を併せてお使いいただくことを前提として設定した価格なのです。

Deeper<sup>®</sup>は原価、販売価格、そして薄毛改善効果において空前絶後で前人未到の製品であると自負しています。

今、このような素晴らしい製品に出会えたあなたはとても幸運な方です。

是非、あなたの頭皮でDeeper<sup>®</sup>の至極の一滴を体感してみてください。

※エビデンス…モニタリングなどの臨床によって結果(効果)が得られた数値・数量・濃度のこと

# ナノ化成分と配合濃度の罠

ナノ化された成分は環境による影響を受け易いため腐敗しやすく、製品の安定性(安全性)が低くなるというデメリットがあります。

また、ナノ化するには加工コストが必要なため、安価な成分をナノ化する場合はほとんどです。さらに、ナノ化成分は原料メーカーから出荷される時点で、成分濃度が驚く程低く、ナノ化成分を高濃度配合する事は現実的に不可能です。仮に配合濃度を高めた場合でも、製品の安定性が保てないため、防腐剤や安定剤が多く必要となります。

このように、成分をナノ化していると表示し、あたかも製品が優れているように誇大な表示をし、消費者を誤認させ、安価なポリ容器に入れ利益ばかりを求めて販売を行っている企業も存在するので注意が必要です。

また、巷にはナノ化成分に限らず特定の成分を〇%配合していると表示し、その製品が他の類似製品よりも優れているかのように消費者を錯覚させている企業もあります。

しかし、原料メーカーは各成分を製品に溶け易い状態にまで希釈して出荷するため、〇%配合といっても特定の成分自体が〇%配合されているわけではありません。

例えば

①精製水が90ml入ったコップに、10mlの食塩水を入れます。

②精製水が80ml入ったコップに、20mlの食塩水を入れます。

さて、塩分濃度が高いのは①と②のどちらでしょうか。

ただし、①にいれた食塩水の塩分濃度は10%、②に入れた食塩水の塩分濃度は1%です。

正解は①です。

①は塩分濃度が約1%の食塩水となり、②は約0.2%の食塩水となります。

このように、原料を多く配合しても原料自体の配合濃度が低ければ高濃度にはならないのです。

$(10\text{ml} \times 10\%) \div (90+10\text{ml}) = \text{濃度 } 1\%$

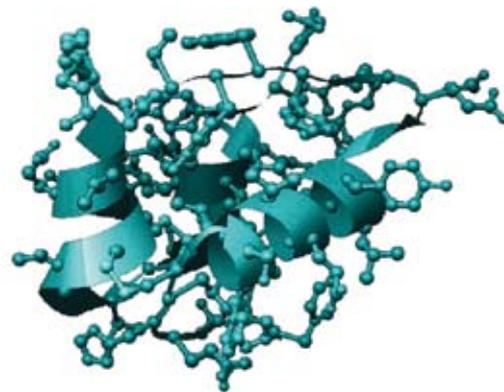
$(20\text{ml} \times 1\%) \div (80+20\text{ml}) = \text{濃度 } 0.2\%$

## 成長因子 -GROWTH FACTOR-

Deeper。は、iPS細胞などの医学的治療によって脱毛症が根治されるまで、現在発売されているスカルプエッセンスとしては最高品質であり、最も効果を実感出来る、優れた製品である事を使命として、設計・開発されました。

従来の育毛剤とは、トウガラシチンキ、センブリエキス、ヒノキチオール等で血行を促進し、頭皮にビタミンを与えるなど、発毛・育毛に必要な一要素を与えるのみです。

一部の育毛剤には、成長因子の産生促進（体内で作るように促すこと）を目的とし、配合成分を調整している製品もありますが、髪を作るために重要な働きをする成長因子そのものが配合された製品はほとんどありません。



しかし、Deeper®には成長因子そのものが配合されています。  
従来の薬用育毛剤を用いて、成長因子の産生促進（体内で作るように促すこと）を行うか、  
成長因子が配合されている Deeper®を用いて毛母細胞に直接成長因子を与えるか、  
あなたはどちらが効率の良い方法であると考えますか？

Deeper®には、最先端の頭髪再生治療で使用されている成長因子と、  
同品番の高品質な成長因子を配合しています。そのため、浸透性に優れ、作用が早いという特徴があります。  
また、天然植物成分などを合わせると合計43種類の有用成分を配合しており、  
その中には一般的な育毛剤と同様、頭髪の成長に不可欠な血行促進成分や各種ビタミン等も配合しています。  
Deeper®は一般的な育毛剤に配合されている主要成分と、成長因子を配合しているため、  
一般的な育毛剤の効果を兼ね備えた上で、細胞の活性化という特徴的な作用をもたらします。

抜け毛を減らしたい。

髪を増やしたい。

髪の伸長を早くしたい。

Deeper®とはそんな頭髪の悩みを最短ルートで解消するスカルプエッセンスです。

## 中国では古くから髪は「血余」と言われ皮膚や血管、 血液の延長でそれらが変化したものと考えられています。

中国では古くから髪は「血余」と言われ皮膚や血管、血液の延長でそれらが変化したものと考えられています。髪を作り出す細胞である毛母細胞は、皮下のバルジ領域でペプチド結合(数種のアミノ酸が結合すること)によって作り出されます。

このバルジ領域が脱毛の3大原因や加齢によって正常に機能しなくなると毛母細胞の産生力が低下(鈍化)し、新毛の生成が行われなくなります(発毛不全)。

バルジ領域を正常な状態に戻し、毛母細胞の産生を促すには、バルジ領域を活力のある状態に保つ必要性があります。そのためには、成長因子を地肌に潜伏させる必要があります。成長因子の特性上、地肌に長時間潜伏させることで最も効果を発揮します。そのため、モンゴ流シリーズはシャンプーに成長因子を配合せず、Deeper®に配合しているのです。

シャンプーに成長因子を配合しても、すすぎの際に流れ落ちてしまっただけは、いくら効果に優れた成長因子でも本来の効果を発揮することが出来ず、無駄となります。又は、「どうせ潜伏しないのだから」という理由で、単なるストーリー作りの為にエビデンス量を見逃したほんの僅かな量しか配合していないかもしれません。どれだけの濃度であれ、シャンプーに成長因子を配合する事はナンセンスです。

成長因子は高価ですが、有用な成分です。  
単に成長因子と言っても品番によって価格や特徴は様々です。  
Deeper。には美容外科などの医療機関で使用されている高品質(グレード)の成長因子を、  
原料メーカーが推奨するエビデンス量を満たした濃度で配合しています。  
これらの成分は、皮膚医学理論に基づき、目的に対し有用性のある成分を配合しており、  
コストに対し効果の低い成分は配合していません。

そして、成長因子以外の有用成分と混合し、モニタリングを繰り返し行う事で、  
各成分が最も効果を発揮する黄金比率を導き出し、配合濃度を決定しています。

また、成長因子以外の育毛に良いと言われる成分も、使用方法によって大きな差が生じます。  
植物エキスはシャンプーに配合し、頭皮や頭髮に浸透させる事で効果は残存しますが、  
成長因子のように塗布し潜伏させることで大きな結果(効果)をもたらす成分や、  
ノコギリヤシのように塗布するより服用する方が結果が出易い成分があります。  
これが前述した、シャンプーに成長因子を配合しても意味がない。という理由です。

潜伏させてこそその効果。

私たちは、この先端科学の結晶をただ配合するだけでなく

「結果が生まれる使い方」にこだわりました。

# 最も重要な事は、早期に開始し徹底して辛抱強く使用すること

① シャンプーで頭皮環境を健やかに。

頭皮環境が乱れていると、髪が生えにくく、育ちにくい状態といえます。

モンゴ流シャンプー EX\* には、頭皮環境を健やかに保つ目的で天然植物成分が合計24種類配合されています。そして、あらゆる頭皮と毛穴のトラブルに対応できるように、各成分を独自の配合バランスで配合しています。モンゴ流シャンプー EX\* を継続的にお使い頂くことで、頭皮環境が整い、健やかな状態を維持できます。

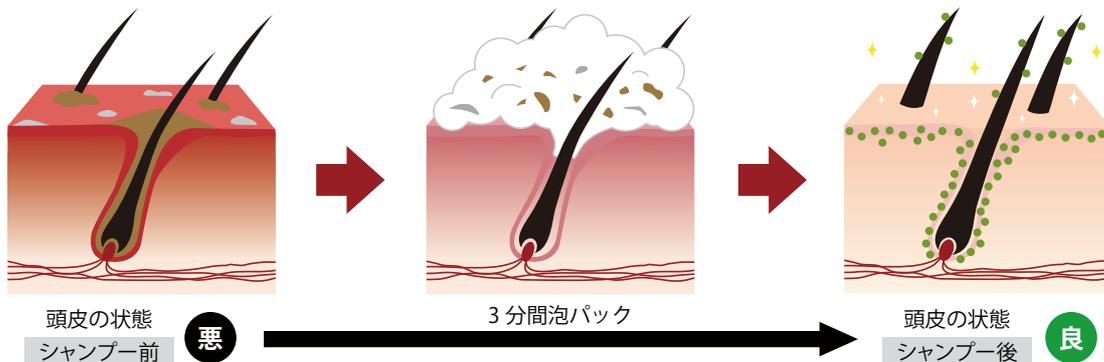
## ポイント 3分間泡パック

シャンプーの泡で、髪と頭皮を約3分間パックします。

毛穴に詰まった皮脂や汚れを分解し、頭皮と毛穴に各種天然植物成分が浸透します。

植物エキスは泡を流した後でも浸透した成分が残存するため効果が持続します。

## ① シャンプーで頭皮環境を改善する

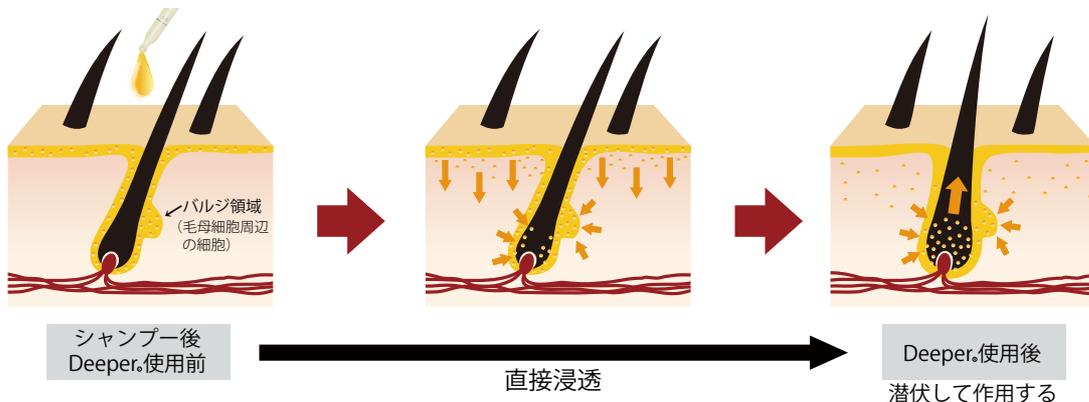


## ② Deeper<sup>®</sup> は浸透し、潜伏する。

Deeper<sup>®</sup> は信頼のおける成長因子を専門機関のエビデンスに基づき高濃度配合しています。そして細胞に直接届くように海洋深層水とブレンドし、浸透力を高めています。殺菌・抗菌・収れん・保湿・保護・整肌作用などはシャンプーの3分間泡パックで果たせますが、成長因子などのペプチド類やプロテオグリカンは皮下に浸透させ長時間潜伏させなければ優れた効果を発揮することはできません。つまり、効率よく頭皮に浸透させ潜伏させるには、モンゴ流シャンプー EX<sup>®</sup> で頭皮環境を整えた後に使用する事が重要です。

**ポイント** Deeper<sup>®</sup> に配合されている、信頼のおける成長因子をシャンプーに配合しても、シャンプー後のすすぎで泡を流しては水の泡です。もし成長因子を配合したシャンプーがあるとしたら、それは見せかけだけの僅かな量しか配合されておらず、その僅かな量の成長因子はすすぎの際に洗い流されてしまうため、あなたが成長因子に期待する効果はほとんど実感できないでしょう。

## ② Deeper<sup>®</sup> が浸透し、潜伏する。



## 「効果」を考えて化粧品グレードで開発しました。

モンゴ流シャンプー EX<sup>®</sup>は医薬品ではなく、髪と頭皮(地肌)を健やかに保つことを目的に設計・開発された化粧品グレードのシャンプーです。

また、医薬部外品でもありません。

私たちが日頃使っているシャンプーは化粧品と医薬部外品に分類されます。化粧品は皮膚、もしくは頭髪を健やかに保つために塗布、散布するもので、人体に対する作用が緩和なものと定義されています。

一方、医薬部外品は脱毛の防止や育毛など、その効果・効能を表記することができる一方で、厚生労働省が定めた医薬部外品原料規格に定めた成分しか配合できません。

また、成分の配合濃度に上限が定められています。

そのため、値段が違ってても、類似商品同士は配合成分が似通ったものになります。

また、医薬部外品は、部外品と言うにもかかわらず薬用と表記されることにも疑問が残ります。

近年、薬用スカルプシャンプーが市場を賑わせていますが、この「薬用」という文字と言葉に惑わされないでください。

消費者の方々は、薬用と言えば医薬品を連想しがちですが、医薬部外品には医薬品のような効果・効能があるわけではありません。医薬部外品の認可を受けた製品は単に「薬」「薬用」という

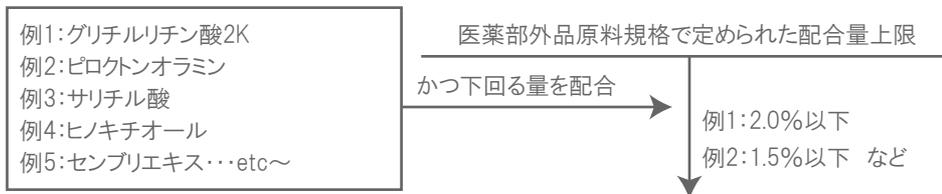
文字を使えるだけのことであり、決して、医薬品のように効果・効能があるわけではないのです。

一昔前に申し合わせた決まりが依然として残ったままの何とも「不可解」な制度です。

こうした「不可解」な制度に、消費者は、「薬」＝「医薬品」＝「効く」と錯覚し、

つまり「薬」という言葉に惑わされて購入しているケースが多いのです。

◎医薬部外品 医薬部外品原料規格に登録された成分のみしか配合できない。





※仮に Deeper® を医薬部外品として登録すると、グロースファクターやモンゴロイド3大伝承成分であるイラクサ・奇跡の果実と言われるシーバックソーン等を配合できなくなります。

## 医薬部外品であるための条件とは？

医薬部外品登録は薬事法という法律に照らし合わせて認可されます。  
『薬事法』この法律は、戦後間もない昭和23年に公布されて以来、何度か改正され、現在の形に整ったのは昭和35年です。

この薬事法を基に承認しているため、現代に至っては不都合な点があるのです。  
例えば、医薬部外品の配合可能成分に、効果の優れた最新の成分が含まれていない点や、配合が認められている成分であっても配合濃度に制限が設けられていることなどです。  
効果を高めようと考え、最新の成分を高濃度で配合すると、前述した制約のために、厚生労働省はこの製品を医薬部外品とは認めません。  
すなわち、製品の効果を高めることが出来ないのが医薬部外品なのです。  
ルールがこの通りなので、市販されているすべての医薬部外品に言えることです。  
だからこそ、医薬部外品では、育毛も発毛も出来ないのです。

効果を期待する人にとって、一体何が賢い選択なのか？

答えは、医薬部外品では無く、『化粧品』です。  
化粧品とは各メーカーの責任において、配合成分や濃度を自由に選択する事が出来るかわりに、使った成分はすべて表示しなくてはなりません。ユーザーは、メーカーが開発した最新の成分を配合した製品を使用出来ると同時に、使われている成分をすべて知ることが出来ます。  
もちろん、各メーカーの責任で自由に配合して良いと言っても、どのような成分を配合しても良いというわけではなく、化粧品に配合可能な成分は日本化粧品工業会によって定められています。  
(配合出来る成分数は医薬部外品より化粧品の方が圧倒的に多く、安全面に関しても厳格である)  
すなわち、効果を期待する人にとって賢い選択とは、医薬部外品ではなく『化粧品』であり、使用目的と、表示している効果がマッチングする化粧品ジャンルの製品を選ぶ事です。  
現に、育毛クリニックなどの医療機関では、薬を処方するだけでなく効果を追求するために化粧品グレードでシャンプーや育毛剤を自社開発し、患者さんにおすすめしています。

現在、市場には薬用と謳い、配合成分に大差もないのに言葉を変え、表現を変えただけの気休めの製品が氾濫しているので注意が必要です。

こうした中で唯一、医薬品として話題となった成分に冒頭でもお話をしたミノキシジルがあります。

ミノキシジルとは本来、血管拡張剤として開発された成分です。

塗布又は服用することで血管を拡張し、血行が促進されます。

すると髪成長に不可欠な新鮮な酸素や栄養が血流によって毛母細胞に運ばれます。

しかし、ミノキシジルには副作用（かぶれ、かゆみ、赤み、湿疹など）が

数多く報告されており、仮にそれらの副作用が改善されても発毛育毛に関しては

血行促進という一つのプロセスを担っているだけにすぎません。

（詳細は“ミノキシジル”“副作用”で調べてみてください）頭髪とは血行を促進するだけで生えてくるものではありません。

つまり、ミノキシジルで効果を得る事が出来なければ類似効果を持つ製品を使用しても同じ結果となります。

ミノキシジルで「かぶれる」原因と「かぶれ」によるリスク

ミノキシジルを外用薬として使用した人のおよそ10%前後の人に、

皮膚の「かぶれ、かゆみ、赤み、発疹、」などの副作用が確認されています。

これは、皮膚に元々備わっているバリア機能が、皮膚に浸透したミノキシジルを不要な成分であると判断し、

代謝機能によって、ミノキシジルを皮膚上から排除しようとする時に生じます。

副作用が生じると、大切な頭髪さえも不要であると判断され、脱毛原因物質が放出され、

脱毛につながる事さえあります。

つまり、育毛のためにミノキシジルを使用していても、副作用が原因で脱毛が進行することがあるのです。

ミノキシジルと Deeper® の併用で副作用の発生率が低下

過去にミノキシジルを使用して副作用を経験したことのある被験者115人を対象としたモニタリングで、

Deeper® とミノキシジルを併用すると、ミノキシジルの副作用である「かぶれ、かゆみ、赤み、発疹」の

発生率が低下することがわかりました。

## ■愛用者の声

### ■36歳男性 会社員

ミノキシジルタブレットでかゆみ、赤み、手のむくみ、指毛、すね毛しか得られなかったのですがDeeper.と併用したら生え際ポーポー！私の場合、地肌で成長因子が足りなかったようです。それからは、ミノキシジルの使用量は半分に減りました。シャンプーも抜け毛は本当に止まりますし、太く、量感と質感のある髪になりました。他のスカルプシャンプーとは、グレードが異なるすごいシャンプーだと思います。

### ■43歳男性 会社員

ミノキシジルを長年使用していたのですが、ある時から急に頭皮がかぶれてしまって効果が実感できませんでした。ミノキシジルの代わりにDeeper.を使い始めたら、頭皮がかぶれることも無く、非常にいい調子です。まとめ買っていたミノキシジルの残りをDeeper.と併用してみたところ、なぜか頭皮がかぶれることもなく、毎日使えるようになりました。そして、ついに髪が生え始め、鏡で見るとはっきりと確認できるようになりました。Deeper.と、ミノキシジルの相乗効果でより強力な育毛剤になっているのだと思います。併用し始めてからは生え際がフワフワ、チクチクで感動しています。

### ■38歳男性 団体職員

ミノキシジルを約6年間使っていますが育毛効果が見られず、いつも頭皮がかぶれていました。使い始めて3年目頃、頭皮のただれがひどくなりすぎて、使用を中止したこともあるほどです。かといって、育毛効果は何も感じませんでした。そこで、様々なサイトやHPなどで育毛剤の情報を調べてみましたが、どれも誇大な広告と嘘八百ばかりでミノキシジルよりも、優れた育毛剤があるとは思えず、仕方なく効果を感じることがないまま、慢性的な副作用に悩まされても、ミノキシジルに頼るしかありませんでした。信頼できそうな育毛剤が見つけれず四苦八苦していたそんな矢先に、旧知の知人からDeeper.を勧められ、半信半疑で使い始めました。残っていたミノキシジルを捨てる事も出来ないので、少しずつですがDeeper.と併用して使っていました。併用して使うと、頭皮がただれることが無くなり、使用開始後3～4ヶ月程で育毛効果がハッキリと実感できました。ミノキシジルを単独で使っていても、効果が分らなかったのですが、Deeper.と併用し始めたら効果がハッキリと見えているので正直感動しています！！

効果・効能には個人差があります。

## 各製品特徴

### 【Deeper<sup>®</sup>】

成長因子配合により、発毛・育毛効果が高い。男性ホルモンの活性化による男性型脱毛症を防ぐ5 $\alpha$ リダクターゼ阻害成分を17種類、脂漏性脱毛症に対応する抗菌、抗炎症成分を6種類、血行促進成分を4種類その他、頭皮サイクルの改善や、あらゆる脱毛の原因に対応したスカルプエッセンスです。

◎Deeper<sup>®</sup>及びDeeper<sup>®</sup>3D共通として。

産毛を成長期に引き込み、健全毛を増やす。休止期に入った髪を成長期に戻し、髪の寿命を伸ばす。毛根を深く引き込み、脱毛を阻止する。髪を太く硬く成長させる。年齢性別を問わず効果がある。副作用がない。

### 【Deeper<sup>®</sup>3D】

Deeper<sup>®</sup>よりも成長因子を多品種高濃度配合。加齢や頭皮のトラブルなどで成長力を失った細胞に活力を与え、発毛力及び成長力を高める。家庭で実践する頭髪再生治療と呼べるスカルプエッセンス。

### 【クリニカルエッセンス】

美容クリニック等でホームケア用として院内処方される。優れた成分を配合していることが多いが、医師の保証料が上乗せされているため価格が不適正(高価)。

### 【第一類医薬品】

ミノキシジルの血流促進作用。毛母細胞の分裂を促して発毛を促進。但し、副作用のリスクもある。効果については個人差がある。

### 【育毛剤】

医薬部外品の育毛剤は、気休め的な成分しか配合されておらず、単なる頭皮の清涼剤と見て取れる。

### 【市販のエッセンス】

優れた成分が配合されているが品質と配合濃度は不明瞭。場合によっては医師の保証料が上乗せされている場合がある。

### 【ミスターX】(仮称)

ミスターXは日本と米国でステージ4(臨床試験)の段階まで開発が進み、頭皮の毛細血管の至るところまで強力に拡張し、発毛を促進します。近い将来発売されるであろう、最強の育毛剤です。

## 薄毛改善は、抜け毛を防ぎ、発毛を促進すること

抜け毛の原因は様々ですが、日本人に多い抜け毛の原因は大きく分けると3つに分類する事ができます。

- ①男性ホルモンDHT (AGA) による毛母細胞の衰退
- ②マラセチア真菌の増殖による頭皮の炎症と毛根の根腐れ
- ③不飽和脂肪酸等、栄養の不足による髪の毛の成長不全

これらは一般的に【抜け毛の3大原因】とも呼ばれています。

人によっては、抜け毛の3大原因のいずれか1つが原因で抜け毛が進行する人もいますが、3大原因の全てが影響して髪が抜ける人もいます。

抜け毛の原因を特定する事が出来ればいいのですが、最先端の医療技術をもってしても、ご自身の抜け毛の原因を特定する事は困難です。

Deeper® は、抜け毛の3大原因の全てに対してアプローチする事を目的として開発されています。つまり、ご自身の抜け毛の原因を特定する必要はありません。

また、抜け毛の原因が1つであっても、将来的に他の原因も絡んでくる可能性があります。このような場合においても、Deeper® をお使い頂くだけで、その他の原因に対しアプローチが可能です。

貴方の目的が「薄毛改善」であれば、もう一つ覚えて頂きたいことがあります。

「抜け毛を減らしても、生えてこなければ薄毛は改善されません。」  
例えば、お風呂にお湯を溜める際に、浴槽の排水溝に栓をするだけでは、お湯は溜まりません。  
蛇口からお湯を出すことでお湯は溜まっていくのです。  
そして、蛇口から出るお湯の量を多くすると、短時間で湯を貯めることができます。

浴槽を頭皮に置き換え、お湯を髪に置き換え想像してみてください。  
つまり、失う量を抑制し、加える量を増やさなければ、浴槽にお湯が溜まらない様に、  
薄毛が改善されることはありません。

しかし、脱毛は抑制する事ができても順調に髪が生えない場合もあります。

髪が生えない原因は、バルジ領域の老化にあると言われています。  
バルジ領域とは、髪の種類となる毛母細胞を生み出す部分です。  
この部位が老化現象によって衰えると、毛母細胞が生まれなくなるため髪は生えません。  
老化は、誰にでも必ず訪れる現象ですが、いつ訪れるかには個人差があります。  
(老化の初期段階は、髪が細く、柔らかくなる)

老化とは細胞の働きが衰える事であり、細胞の活性化と逆の現象です。  
ここまで読まれた方なら理解されていると思いますが、老化とは体内の成長因子が  
減少する事によって引き起こされます。  
成長因子は一般的に20才をピークに時間の経過とともに減少していきます。  
つまり、時間の経過とともに失った成長因子をバルジ領域に与えることで、  
バルジ領域の毛母細胞生成力を高めることが可能となるのです。

つまりDeeper。であれば、髪が生えてこない原因が加齢であっても対応することができるのです。

# 最も重要なことは、早期に開始し徹底して辛抱強く使用すること

実際に、成長因子は生成力・成長力をなくした細胞（毛母細胞）に活力を与える働きをします。

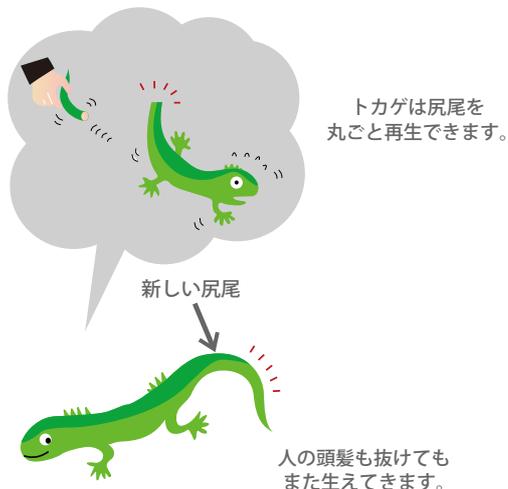
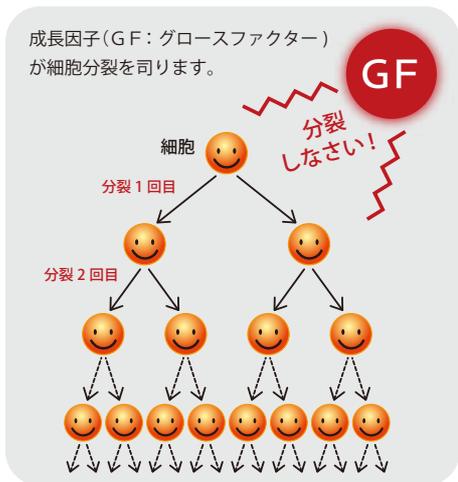
例えば、筋肉を付けたければなるべく若いうちに毎日根気よくトレーニングを行い、  
プロテインなどの補助食品で良質なたんぱく質を摂取すると筋肉が付きやすく効果的です。

還暦を超えてから、いくらトレーニングを積んでも若い人ほど筋肉は付きません。

頭髮も筋肉と同様です。

なるべく早い段階で頭皮ケアを開始し、良質な成長因子を与える事がより髪を成長させるという結果につながります。

成長因子は細胞を活性化する為、弱った細胞に栄養を与える一般的な育毛剤と比較し、使用中の経過に、  
明らかな違いが生じます。与えられた栄養を十分に生かすことが出来るようになった毛母細胞は、今までとは違い、  
髪の生成力・成長力を取り戻し、ぐんぐんと成長していきます。



## ■ 医学的根拠と環境遺伝について

私たち日本人はモンゴル人やインディアンと同じ「モンゴロイド」であるという事実があります。そして、モンゴル人やインディアンは、千年以上も昔から、イラクサやユッカ、シーバックソーンをすり潰し、洗髪に使用していたという歴史があります。そして、薄毛で悩む人が少ないという事実があります。そういった歴史と事実があるにも関わらず、イラクサとユッカが育毛に良いという医学的根拠はありません。

しかし、これらの事実から、イラクサとユッカを洗髪時に使用すると、薄毛になりにくい体質になり、その体質そのものがDNAに信号として刻まれ、信号遺伝へと変化していったと考えることができます。逆に言うと、信号遺伝へと変化していくことを否定する医学的根拠が無いことも事実なのです。

## ■ 育毛剤における特許の持つ意味

特許とは今までにない技術や考え方を公開した代償として、一定期間、その発明を独占的に使用しうる権利(特許権)を国が付与するものです。育毛剤であれば、特定の成分がもたらす効果について特許を申請する事が多いようです。

育毛成分で特許を申請・認可取得するまでの流れは、開発者(個人・法人問わず)が製薬会社や代行業者に、特定の成分を使用する事でこのような変化が起こると、結果を予め提示し、提示した結果が立証できる論理や数値を作り、特許庁に申請します。特許庁は申請されたデータが事実であるかの合理性を書面の上で確認し、その他問題が無ければ特許として承認します。

ここで問題となる点は、調査を実験室と同様の環境で、同様の方法手段を用いて審査員の前で実際に確認しないという点です。書面上の確認を行うのみで、データの裏付けを取らないため、データのねつ造がまかり通ってしまう事さえあるのです。

記憶に新しいのは、大学と大手製薬会社ノバルティスファーマが結託し高血圧治療薬の臨床データをねつ造していた事件です。

製薬業界で起こったねつ造問題では大学側関係者が次々と謝罪する事態となりました。

これは、製薬業界の信用を大きく損ねた「前代未聞の不祥事」として連日連夜マスコミに報じられていましたが、育毛剤の特許に関しても同様にねつ造によって特許を取得するようなことがまかり通っているのです。



最も重要な事は、早期に開始し、  
徹底して辛抱強く使用することです。

**株式会社アルファウェイ**

〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-24 新大阪第一生命ビル

TEL : 06-4807-2178 FAX : 06-4807-2177

コールセンター  0120-38-0205

<http://www.mongoryu.com/deeper/>

モンゴ流 Deeper

検索

The image features a group of people in silhouette, holding up several flags against a bright, hazy sunset sky. The central figure is the most prominent, holding a large flag high. The overall mood is one of triumph or collective achievement.

人類はDeeper<sup>®</sup>を使う